鶴の湯

Tsurunoyu
（東京都台東区）

今回紹介する銭湯は台東区の鶴の湯。総武線の浅草橋から徒歩で約 5～10 分の所にある。

外観は見ての通りの伝統的な大江戸銭湯スタイルだ。中に入るとフロントがある。脱衣室の一部をつぶしてフロントと休憩場所を確保しているようだ。休憩場所にはアイスクリーム、飲料、石鹸類の販売がある。

脱衣室にはロッカーが 33 個あり、プライベートロッカーと思しきものが 8 個ある。今日は暑かったが、脱衣室の中はエアコンで適温に保たれている。団扇も複数置いてあるので、風呂上がりに利用できる。ドライヤーは 1 個あり、利用料は 20 円だ。

脱衣室のトイレは珍しく汽車便。壁を見ると、古いバルブが化石のように壁面に埋まっている。もう使っていないみたいだ。

脱衣室の外には坪庭もある。燈籠があり、手入れが行き届いているようで、雑草は生えていなかった。

浴室には洗い場が 18 か所。自閉式の湯栓、水栓、シャワーヘッドがある。これまた珍しく、シャンプーとボディーソープが 1 セットだけ置いてある。

湯船は浅風呂と深風呂のコンビネーション。湯温は両方とも熱めで、湯温計は 44℃を示している。浅風呂側の水栓は利用可能だったので、しばらく水を入れながら湯につかる。深風呂側はなぜか水栓が壊れている。湯船の隣にはシャワーブースが 3 個ある。隔壁はパネルではく、タイルだった。金をかけている。

尚、鶴の湯にペンキ画はなく、南国の景色をイメージしたタイル画がある。天井は高い。

最近気になっているものがある。トニックシャンプーである。散髪屋でよく使われているひんやりするアレだ。私も年を取ってきたからだろうか。オッサン臭い商品でも、気にならなくなった。夏の暑い日に使えば爽快なのではと思う。鶴の湯の休憩場所にあるガラスのショーケースにも、それらしい商品が置いてあった。これで体も洗えば、全身がひんやりするのだろうか。一度試してみたい。

鶴の湯は、銭湯好きを裏切らない熱い湯の典型的な大江戸銭湯であった。

DATA

名称	鶴の湯
所在地	東京都台東区浅草橋 5-27-2
電話	03-3851-4569
営業時間	15：30～24：00
定休日	土曜日
入浴料	大人［12 才以上］ 520 円
	中人［6 才以上 12 才未満（小学生）］ 200 円
	小人［6 才未満（未就学児）］ 100 円
サウナ	なし
サウナ内のテレビ	なし
取材日	2023 年 7 月 6 日
取材	銭湯愛好会東京支部
最寄りのスキー場	なし